



発想したイメージをそのまま具現化できる ってところが最大の長所じゃないかな。

株式会社アライズ(福岡県北九州市)は、ECやITのコンサルティングや受託開発をおこなっている。今回、取締役の西本裕一氏(写真)に、webフレームワークのアウトソースに至った経緯を伺った。

----- アウトソースを考えたのは、いつごろどんなきっかけでしたでしょうか？

今回依頼した動機ってというのは、たまたま電話でお話して例のバーコードを印刷するっていう話をしたときに、「僕(木元)ならWebでPDFでやっちゃいますよ」っていうところで、面倒くさいことができるんだ、そしたらWebの部分でちょっとその部分相談しようかなと思って、その相談ベースが始まり。

僕のWebの知識ってというのは、基本的に物を作るのではなくて、物を使うというふうな知識が多いよね、例えばWebでのERPシステムだとか。

そういうことばかりやってたからWebで物を作るってなったときに、例えばPHPがいいのかPythonがいいのか、何がいいのか、Rubyがいいのかっていうところは判断はできるけど、物を作るのは放棄してるので誰かにやってもらわなければいけないっていうのが出てきて、今のメンバーじゃスキル不足だからっていうところで話の流れで巻き込んだりゃえ、っていうところでお願ひしたってところ。

そういう部分での ブレンとしての期待が一番大きいと。

---- きもと特急電子設計はいつどこで知りましたか。

あの当時はいろんな人に来て、いろんな野心家もいれば天才もいますが、その中でいろいろ出会いがあって、だからきっかけはそこです。

僕らが東京に行っている人々と会っている中の1人だった。

---- 最初会ったときの第1印象っていかがでしたか。

アキバの人だって(笑)。待ち合わせがそこだし。

---- なぜ、きもと特急電子設計を選んでいただいたのか、あれば三つお願いします。

一つは、まだ一度も仕事はしたことなかった。だから、どんな仕事をするだろう、という興味があって一つ。

それとパフォーマンス考えたら、今回の案件というのはもう早く終わらせなければいけないので、(きもと特急電子設計なら)早く終わらせられる可能性があるというところが二つ。

それとやっぱり何て言うかな。いろんな人たちに会いました。その中でいろんな物事発想をする部分で、やっぱりいろんな天才がいるわけね。その中の1人なので、だからそこから面白いことできるんじゃないかな、というふうなところがあってお願いしたって感じ。

この三つじゃないかな。

だからある意味、興味本位ってところがすごく大きいよね。

もの作りの現場から退いてからだから、今後いろんなビジネスモデルと考えていく中で、実現できるような人が今までいなかったんで、もう今後パートナーとしてやっていけそうかなっていうところかな。

---- 良いところ三つ、悪いところ三つ、お願いします。

いいところ悪いところ表裏一体だ、と僕は思ってるんです、人の長所短所となっているところ。

今回いいところは、発想したイメージをそのまま具現化できるっていうところが最大の長所じゃないかな。

あと僕のベースに合う人というところ。僕は結構のんびりしてるところに対して、だからどうしてもスケジュールが厳しくなってしまうから、でもそのスケジュールを守る人材だということかな。

あともう一つはやっぱり裏切らないよねっていうところ。

そこはもう僕の第6感という部分があって、何か問題があっても逃げたりしないかなっていうところ。

というか、その前に問題解決しちゃうかもっていうところがあって。

悪いところはねどうなんだろう。僕の発想と木元さんの発想の間にギャップがあったときに、これはもう僕のスピード感もあるんだけど、ちょっと待ってっていうところがあるよね。

---- システムで、いいと思われるところがあれば。

システムで良いところは、もう汎用性が高いっていうこと。

だからあとのことを考えたら、このシステムはそれが向かうべき方向が正解だったと思うし、ただ今回の作り方っていうのは、物が出来上がるまでわかんないよね。

これが悪いところだと思う。だからいいところはもう自由に汎用的に物が作れる、悪いところは逆にその全く裏返し。

だから今回のwebシステムはそんな難しいシステムでないで、後のことを考えたときにはそういう部分がメリットになるし、今後うちのアドバンテージになるんじゃないかな、って思ってる。

新しい人が入ってきてても考え方だけわかれば、そこはすんなり入るだろうしあまりデメリットを感じてないよね。

ただ今回そこまでパフォーマンスを必要としないとか性能というか、そこは求めてないからいいんじゃないかなと。

例えばこれをビッグデータを使っていくと、もうちょっと考えなきゃいけないと思うし。

データの想定件数もそんなに多くはないので、これはもう何十万というようなレベルになったら、やっぱりきちっと考えなきゃいけないんで。

それを考えたら、とりあえずはもう第一歩でいいんじゃないかな。

という感じで、今のところまだいいとこしか見えてない。

---- 今後の期待とか要望がありましたら、お願いします。

もう本当、こうやって投げたときに木元さんのブレーンの中で、これ聞いてみようかな、この人に聞いたら簡単に答えてるかもって言ったら、その人も巻き込んで構わない。

僕は基本的に独り占めするのが嫌いだから、そういう部分でのブレーンとしての期待が一番大きいと。一番好きなところそれを具体的にしていきたいなというふうに思います。

---- ありがとうございました。

ハード+ファーム+クラウド開発が 9万円で。LTE回線、ケース込み。 仕様書不要。

きもと特急電子設計 プロフィール



屋号	きもと特急電子設計
代表	木元 峰之 (きもと みねゆき)
設立	2009年
従業員数	1人 (代表1人でやっています)
住所	150-0002 東京都渋谷区渋谷3-5-16 渋谷3丁目スクエアビル2F (レンタルオフィスですので、アポを取ってからお越しください)
開発室	神奈川県横浜市 (普段はこちらで仕事をしています)
電話	0120-220-447 (打ち合わせ中など出られない場合は、留守電にメッセージをお願いします)
メール	post@kex.jp
ホームページ	https://kex.jp/
扱える技術	回路(ハードウェア)設計: アナログ、デジタル、マイコン、電池など。 プリント基板: 設計、はんだ付けなど。 ソフトウェア開発・ファームウェア開発: アセンブラ、画面・タッチパネル設計、センサー制御、電源制御など。 無線モジュール選定・制御: Wifi、Bluetooth、TWE-Lite独自ファーム、FMCWなど。 通信プロトコル: TCP/IP、MIDI、有線プロトコル設計、無線プロトコル設計など。 サーバ設定: Linux、Dockerなど。 ウェブシステム開発: C言語、php、JavaScript、画像処理、3D座標計算、独自フレームワーク設計など。 スマートフォンアプリ開発: Android、NDKなど。 自動化: PDF生成、データフォーマット変換、実験計画法、makefile、自動テスト、バーコード処理など。 ※大事なのはお客様のゴールですので、AIといった手段に囚われず、適切な技術を組み合わせてご提案します。